

令和7年度 第1回 東金市総合計画審議会 議事録

件名 令和7年度 第1回 東金市総合計画審議会
日時 令和7年7月10日(木) 午後2時から午後4時まで
場所 東金市役所 第1庁舎3階 第1委員会室
出席者 審議会委員…16名 ※席次表のとおり
東金市…13名
鹿間市長
中田企画政策部長、子安総務部長、遠藤市民福祉部長、長谷川経済環境部長、
豊田都市建設部長、井坂教育部長、関医療担当部長、
松崎企画課長、布留川企画課副課長、嘉瀬企画係長、鵜田主査補、小倉主任主事
※事務局…企画課企画係

議題 (1)会長及び副会長の選出
(2)後期基本計画及び次期総合戦略の骨子(案)の策定について
(3)後期基本計画及び次期総合戦略に係る計上事業の整理等の考え方について
(4)後期基本計画及び次期総合戦略の策定に係る審議会のスケジュール(更新)について
内容は、以下のとおり。

内容

事務局…本日、御出席の委員数が委員総数の過半数に達しており、東金市総合計画審議会条例第5条第2項に規定する開催要件を満たしておりますこと御報告いたします。
それでは、「令和7年度第1回東金市総合計画審議会(以下「審議会」という。)」を開会いたします。
はじめに鹿間市長から御挨拶を申し上げます。

【市長の挨拶】

事務局…それでは、議事の前に、まずは皆様への委嘱状の交付につきまして、企画課長から御説明いたします。

【企画課長の説明】

事務局…議事に移らさせていただきます。

《議題(1) 会長及び副会長の選出について》

事務局…当審議会の会長及び副会長が選任されるまでの間、事務局による進行とさせていただきますこと御了承ください。
当審議会では、審議会条例第4条第1項の規定により、委員の皆様の中からの互選により御就任いただくこととなっております。

事務局…委員の皆様方から候補者の御推薦がございません場合は、「事務局一任」として進めさせていただきます。よろしいでしょうか。
よろしければ、企画課長から事務局提案をさせていただきます。

【企画課長からの提案】

事務局…それでは、会長は、秋口委員。
副会長は、飯田委員に御就任をいただきたく存じます。よろしく願いいたします。
秋口会長から御挨拶を賜りたいと思います。

【秋口会長の御挨拶】

事務局…会長ありがとうございました。
続きまして、飯田副会長から御挨拶を賜りたいと思います。

【飯田副会長の御挨拶】

事務局…副会長ありがとうございました。

《議題(1) 終了》

《市から審議会へ諮問》

事務局…ここで、審議会に対し、東金市第4次総合計画に係る後期基本計画及び第3期東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に関する諮問書を鹿間市長から提出させていただきます。

事務局…審議会の皆さまよろしく願いいたします。
それでは、議事の進行につきましては、審議会条例第5条第1項の規定により、会長は会議の議長を務めていただくと規定されておりますことから、秋口会長にお願いさせていただきます。

《議題(2)後期基本計画及び次期総合戦略の骨子（案）の策定について》

会 長…それでは、議事の進行を務めさせていただきます。
皆様方におかれましては、円滑な議事進行への御協力を賜りますようお願い申し上げます。

会 長…事務局から説明を求めます。
また、その際に事務局には事前照会に対しての委員の皆様方から御意見の紹介等を含めたかたちでお願いします。

事務局…御意見等を含む資料の説明（議題(2)関係資料…計画等の体系案（イメージ図）のとおり）

委 員…主要事業②学校教育の充実と人材育成の推進について、この人材育成とは、教育に関わる部分と理解してよろしいか。
⇒（事務局）こちら前期基本計画の事業において、具体的に学習サポーター事業、コンピューター事業、教育支援等の活用事業ということで、ここでいう人材育成は、教育面であるとの整理をしているところです。

委員…後期基本計画の策定にあたりまして、市民の声をどのように聞き、反映させていくのか。いわゆるワークショップ、パブリックコメント、実効性のある参画の機会をどのように確保するのか。

⇒（事務局）委員からもございましたが、パブリックコメントは実施します。

また、市民アンケートにおいて現行の計画に沿ったかたちで毎年度、この施策についての重要度、満足度を聞いております。

これまでのデータの蓄積も含め、計画に反映していきたいと考えているところです。

委員…まちづくりの柱、主要事業、基礎土台と記載ある中で、少子高齢化への対応が必要ではないかと考える。

これから後期基本計画を策定するに当たり、将来の人口推計に基づく施策の重点化などが不可欠になってくると考える。

5年後の子育て支援・高齢者福祉の充実についてどのようにつなげていくのか具体的な考えはあるのか。

⇒（事務局）後期基本計画に反映させる目標の人口は、現行総合計画の基本構想部分に、令和12年度末に約5万5,000人という想定でおりますので、この数値の維持に向けて各施策を進めていくことが基本線だと考えております。

また、教育、子育て関係、福祉関係といったところを重点的にどういうふうに進めていくかということについては、次の議題(3)と重複する説明となっておりますが、計上する事業は、基本的には継続（右肩上がり）し、実績を増加させていく方向性が基本です。

また、方向性を転換することも各事業所管課に検討してもらいます。

そういった中で、ある分野においては、充実・強化を図っていく、別の分野では、事業の進め方をより効果的なものとするため、再編ということも出てくると思います。

加えて、事業ニーズ、サービスの対象が、規模的に少なくなるようなことであれば、縮減・縮小というような方向性も出てくると思います。

計上事業を全庁的に照会し、調整する中で、委員からの御意見等を共有していきたいと思っております。

委員…総合戦略の基本目標（1）に「魅力あるまちをPRして人を呼び込む」とあるが、前期基本計画の中で具体的に読み取れる項目がない。

まちの魅力を高め、魅力的なまちをPRすることについて、後期基本計画において具体の施策の中に積極的に取り入れても良いのではないかと感じる。

例えば、令和9年にインターハイが千葉県で開催予定であり、当市も会場になっている。会場として、決まった段階で何の種目で、このぐらいの時期にやるということをPRした方が良いと思う。

令和11年には、全国高等学校総合文化祭が千葉県開催で、手を挙げれば、その開催地になる可能性もある。

高校生の力を借りて全国に市をアピールできる。

情報の共有・発信は非常に重要な要素となると考えており、後期基本計画と総合戦略を上手に連携させてほしい。

⇒（事務局）次の5年をどうしていくのかというものは、これから具体的な作業に入っていきます。

その時に出てきた様々な分野の事業を、総合戦略に組み込んで、例えば教育に関する事業など、そういったものも組み合わせながら、魅力あるまちをPRして人を呼び込むというような目標に向かって進んでいきたいと考えています。

- 委員…総合戦略の5つ基本目標、前半はひらがな表記、後半は英語表記だが、これは意図したものがあのか。
⇒（事務局）これからの多様性社会に加え、外国の方も多くいらっしゃるということを踏まえ、多くの方々に市の魅力というものを広くPRするために、あえて英語表記について併記させていただいたところでございます。
- 会長…恐らく、難しいと考えますが、このように英語の表記とするならば、計画書の簡略版を英語で作るのも良いのではないかと考えます。
将来課題として外国人問題は、今度の選挙でも様々な話題があるようですし、翻訳機の活用で、簡易なもので構わないと思います。次の計画などで、検討に入れてみてください。
- 委員…基本目標(2)みらいづくり、子育てのしやすい環境を整えるについて、少子化を意識してのことだと思えますが、少子化の根本原因って子育てというよりも、未婚・晩婚が介在すると考えられる。
そこに対するアプローチというのは、この中の表現ではどのように考えるべきなのか。
⇒（事務局）この体系図では、そこまでのお示しはしていませんが、基本目標には、それぞれ3つ、4つの施策が紐づいております。
委員からございましたとおり、子育ての前段階については、現状においても施策の中で出会いから子育てまで切れ目なく支援するというものとなっております。
基本的な支援事業が多いのですが、令和5年度から当課で結婚新生活支援事業もやっております。
市独自に子育てスタート支援事業というものも、令和5年度から実施しているところです。
これらの継続性も鑑み、発展的な事業があれば、施策に関連させていきたいと思えます。
- 会長…議題(2)について、いくつかの御意見については、今後の作業の中で取り組んでいくとのスタンスの中で、事務局案でよろしいかと思えますが皆さま、いかがでしょうか。
- 会長…それでは、今回の議題の審議は、これで一区切りとします。

《議題(2) 終了》

《議題(3)後期基本計画及び次期総合戦略の策定に係る計上事業の整理等の考え方について》

- 会長…議題(3)に進みます。
事務局に説明を求めます。
また、その際に事務局には事前照会に対しての委員の皆様方から御意見の紹介等を含めたかたちでお願いします。
- 事務局…御意見等を含む資料の説明（議題(3)関係資料のとおり）
- 会長…前任期から引き続きの委員の方は、総合計画に係る前期基本計画、総合戦略といったものを今までの審議会資料で触れている中で、どういう方針で、どのように進めていきたいの

かが分かる内容であると考え。しかし、新たな委員の方々は、基本計画や総合戦略について、よく見ていない、また説明を聞いてない中で、今日の事務局説明を聞いたことと思います。

継続・新規・廃止と言われたって一体何がどうなるのかといった具体的なイメージを掴むことが難しいと思いました。

私や継続した委員の方々は、既に前期基本計画を見ているので、全体的な把握は出来ており資料を見れば把握できているのですが、もし新たな委員の皆さまの中で希望があれば、市に連絡を取ってもらい、もう少し丁寧に説明をしてもらって、前期基本計画や総合戦略のイメージを持ってもらえたら良いと感じたところです。

希望者がいれば、事務局の対応をよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、意見等についてございますか。

委員…私は、第3次総合計画の頃から20年間ずっと見てきて、それからこの前期基本計画の5年間を見てきている。

その中で市の様々な事業について、様々な色付けというか、性質があると感じている。

それを次の5年間で、継続、廃止、新規とするような3つの整理の仕方については、基本的なものでありその通りだと思うが、市で取り組んでいる様々な事業のうち、色付けをする時にほかの色付けの仕方もあって、国や県からの要請や義務のような事業があり、それらについては、必ず実施するよう記載しなければならない。

また、市民サービスの中でも、市単独・独自で自主的にやる事業もある。

やらないといけないことはやる中で、それに創意工夫を加えて、少し予算も加えて市独自のサービスを付加するといった工夫をしても良い。

196主要事業の中で義務部分はここまで、プラスアルファの部分は、この部分という形で担当課が検討し、その創意工夫の部分をこのような審議会という場で、可能な限り積極的に評価をして高めていきたいと考える。

その上でこの新規については、事業化を決める前の段階で企画調査であるとか、試行といった試してみる段階があると思う。

そういった、企画調査というその事業になる卵のようなものを担当課の日常業務、市民サービスとしてやる仕事のプラスアルファでプロジェクトチーム等を作って、こういうことをやってみたらどうかということ企画調査、試行することについて、例えば新規の取組の中で工夫などをしてほしい。

会長…感想ですが、2点。国や県からの要請や義務に関して、市として財政的支援などが見込めそうなものに対し、市が一生懸命に作文しても結果的に支援が得られない場合があります。これは、計画を作るときにある意味では少し許してあげてほしい。特に市の場合は、そういうシチュエーションが多いのではないかと思います。

市としては、意思を表明することはとても大事だと思っており、それに対しては、是非とも市議会に関係の委員の方々が、後押しをしてほしいと思います。

2点目、私自身、計画を色々やってきました中で、ビジョン、構想など、計画、設計、実施管理といった流れがありました。

ビジョンづくりを書く場合と、本当に計画だとかいよいよ事業を行うことになるとする多分そのスケジュールというか、ステップが明らかに違ってくると思います。

委員から御指摘をいただいたように、市としてどれだけ整理ができるのかに関しては、なかなか大変ですが、年末に向けて委員の方々の意見を聞いて、可能な限り委員の気持ちを汲むように、そしてそれが市民にわかりやすくなるように工夫してください。

委員…総合計画は、市の意思を表明するととても大事な最上位計画であって、ある意味市民に夢を

持ってもらおう計画だと思う。

そこで、確認として人口や財政状況の推計をしっかりと分析して、施策の優先順位をどう考えるのか、またどこまで具体的に考えるのかについて整理をしてもらいたい。というのも当市は、限りある財政状況の中で動いていかないといけないと考えるからである。

今後の財政収支の見通しを踏まえて、どのような基準で、継続・新規・廃止を判断するつもりなのか、また重点戦略事業において、財政効果と持続可能性をどのように見積もっているのか、具体的に何かお考えがあれば伺いたい。

⇒（事務局）基本計画の段階で5年間でどの程度の事業費としての歳出があり、これによって生み出される歳入は、このような見込みとなりますといった整理が難しいところはあります。そのような中で、今回の継続・新規・廃止というところになりますけども、事業に係る財源については、当然財政担当とも協議をします。

なお、まずは、各事業がどういう状況にあるかを確実に把握し、その上でどういった投資がなされて、どういった効果が生まれるかということなどにつきまして、財政フレームどおりとならないのが現状ですが、整理をしていく必要があると思っています。

会 長…事務局に少し加えます。時代によって今のお話の部分はかなり変わっています。

高度成長期のときは勢いがあり、ある意味で言えば、物理的に大きいものを生み出そうというイメージでした。

今は、御承知のように、「横ばいから減る」という時代になりました。

総合計画のような市の上位計画の場合は、財政を全く無視するわけにはいけないので、財政を大まかに頭に入れながら、その自治体によりますけれども、例えばそのマクロをベースにして、主要事業にはどのぐらいのものが適切なのか。

そして、その主要事業に関しては、市長や執行部のお考え、皆さんのお考えも含め、前向きに検討してほしいと考えます。

過度に財政を意識してしまうと、可能性として事業更新ぐらいしかできないかもしれません。

実は、あの記載では継続・新規・廃止とあるけれども、1つ1つの事業に割り当てると市の方はかなりの苦勞を伴うと思います。

しかし、そのようなことをしながら、やらなきゃいけないことと、これはもう待ってもいいとか、これも無理だとか、これは、たたき台がある程度出てこないイメージもつきづらいというようなことでお許しいただいて、事務局のこのような「骨組み、方針」でいきますということで納めてほしいと考えます。

非常にありがたいことに色々な御意見いただきました。

事務局は、かなり真剣に考え、方向性を見だし、今後の方針まで記載しております。

大変だけど、委員の意見を念頭に置きながら、場合によっては、辛く難しいってことは、あまり負担とせず、要望は受け止め、今回の5年には入れなくとも、その次にといった想いで、先ほど他の委員の御意見のように、構想計画ぐらいまでは手を入れるけども、各事業にまで手を伸ばすのは、非常に難易度が高まる、そういうような苦勞の面を少し明かしてもいいのかなと思います。

会 長…せっかくの機会ですから、皆さんから一人一人に意見をいただこうと考えております。

そこで、審議結果のとりまとめとして、議題(3)については、事務局の考え、方針はこれで踏襲すると御理解いただけますでしょうか。

会 長…それでは、議題(3)については、事務局提案のとおりで進めます。

《議題(3) 終了》

《出席委員の皆さまからの御意見等》

会 長…それでは、皆さま方に時間はお任せしますから、より良い市とするための御意見をお願いしたいと思います。

委 員…細かい指摘になってしまうが、基本構想のまちづくりの柱(5)「こころ豊かな人を創る」の4番のグローバル化への対応の部分について、これはどういった方に向けての対応なのかというのが疑問で、もしも、その外国人の方に向けたものであれば、柱(4)の「安心して健やかな暮らしを創る」という柱の方が適切ではないかと感じてしまうが、考えを伺いたい。
⇒(事務局)こちらは、令和2年12月に基本構想の中で定めたところに関連するものとなります。
グローバル化への対応と地域間交流の推進については、日本人と外国人が文化や習慣の違いを乗り越え、共生する社会をつくと多文化共生をイメージしており、外国人の方に対する施策が中心です。

委 員…その場合は、「ひとを創る」だと語弊を生みそうな感じがする、多文化共生社会を創るという点だと暮らしを創るという方が、個人的には適切な気がしている。

会 長…当時は、この外国人関係について、そこまで大きな話題になっていたわけではない中で、時代の変化とともに話題に挙がることも多くなったと感じます。
委員の方で、今後もこの関係について確認事項があれば、事務局も対応をお願いしたいと思います。

委 員…基本的には、事務局の方針で良いと感じている中で、皆さま方の事前照会に対する意見等を拝見し、1つ感じたことといたしまして「転換」という表現を「再編」にしてはどうかといった提案があったかと思うが、少し意味合いに相違があると感じる。事務局の意図を汲みとり、柔和な表現として、個人的には「見直し」とかそういう表現の方が好ましいのかなといったところである。

委 員…転換という言葉の持つイメージ的に方向性が異なるものという感じがあり、代替案として再編を提案した。事務局からの考え方の説明を聞き、表現については、他のものに変えることに異議なし。

委 員…以前から感じていることについてだが、計画を見ていて、東金市ではなくとも、他のまちでも通用するようなことが記載されていると思う。
先ほども事務局の方から説明があったが、主要事業数が196もある、これは管理・推進が非常に大変である。
これから順次、そういうことが明らかになると推察するが、「東金」でなければできないこと、だからこれをやっていくといったものがあると良い。
種は小さくても構わないので、東金の花、東金らしさを出してほしい。

会 長…事務局に代わり、私からお話します。
総合計画というものは、規定があり、その形式がおおよそ決まっていて、落とし込むという作業をやらなければなりません。
それからもう1つ、私の経験から今までいくつかの計画の策定に携わりましたが、独自性

を出すのは、難しいことです。

ただ、その努力を捨ててしまうと、東金の名前を他の都市の名前に変えても構わないようなものになってしまう。歴代の審議会委員の皆さまにとっても、そういう点で苦勞しながら計画をまとめているのだと思います。

また、定型的なものを作ることになる中で、様々な御意見をいただいた重点的なことについてあまり絞りすぎず、バランスをとってほしいと思います。

例えば今回の重点は、駅周辺・市役所周辺どうするのかについて、公共交通についても市民が求めるのは特別感、利便性のどちらを求めているのか。そういったものを審議会ないしは、市民からの意見を聞きながらまとめていってほしいと思います。

委員…前期計画から、この会議に参加している中で色々な意見を述べてきたが、本日の会議は、事務局が計画や戦略を策定していくに当たり、今後の進め方についてどうすべきなのかといった方向性がメインとなるものであると理解している。

今後、具体的な内容が示された中で、色々な私なりの意見を述べたいと考える。

委員…今回の審議会の総合計画に係るたくさんの資料を見て、各地区の会議に際し、色々と参考にしようかと思う。

委員…私は、観光分野に携わっており、予算や収支の色々なことを基本として、観光イベントを考えると、楽しいことはできないというのが率直な意見です。身の丈に合ったことだけをやるというのは、夢も希望もないので、ある程度、夢や希望が詰まった計画もいいかなと思う。

委員…多様性という観点から話をすると、おそらく、事務局は、苦勞してこの「区分・整理の仕方」を明記しており非常にわかりやすい。

多様性という事柄が起きたときに、スマホでいえば、「若いから扱える、年寄りだから扱えない」ではなくて、できる人できない人が明確になる時代だと思う。

「片方は、よしとするが、もう片方がよしとしない」現象が起こる中で、継続・新規・廃止というこの大きなくりの分け方が非常にわかりやすくていいと考えている。

何があっても対応できる多様性と包括性のある仕組みを計画に盛り込んでほしい。

委員…現行の196の主要事業について、3つの区分に分けていくこと、またその具体的な手法と流れの中で判断していくということの説明を受け、責任の重さや緊張感が伝わった。

委員…要望が1点。

東金駅東口の開発については、大胆に取り組んでほしい。

実現可能性というのは、一旦考えず、計画を進めてほしい。

やはり、東金市民には、一番注目を浴びるところで、「期待したがこの程度か」というような感想をもってほしくない。時間的なものもあまり意識しないで、可能な限り夢のある開発計画を作してほしい。

委員…私も長くこの審議会に携わっている一人として、この計画に「東金らしさがあまりない」という指摘もある中で、稼ぎにぎわうまちをつくるの中に東金商圏の維持発展という記載があって非常に嬉しく感じる。

人口減少の中で市町村が色んな人と連携をする視点が非常に重要になってきている。

この成田空港の南側は、現状、経済の恩恵を受けてない地域だと考える。

そのような中で、東金はアクセスの観点からいうと、経済的な波及効果も期待できるところがあるので、表向きは他市と大きな違いが出ないような目標に見えるかもしれないが、

ここからどうやって東金の良さを出していけるかというところが非常に重要であるというふうに思っている。

⇒(事務局)成田空港関連で、先般、国家戦略特区も県の方で進めていただき、千葉県全域が対象となりましたので、市としても、そのような点を意識して打ち出していくことで進めていこうと思っています。

市長…成田空港のお話がありましたので、私の見解ですが、東金市の立地は、千葉・都心から非常にアクセスがよく、成田空港からも近いです。
圏央道が全線開通し、加えて令和10年度に第3滑走路が供用開始予定となっており、物流や人の往来が非常に増えることが想定されます。
その波及効果をいかに東金の地域経済に引込んでくるかが今後の課題ではないかなと思っていますので、一生懸命に取り組んでいく所存です。

委員…次の5年を展望すると街並みも含め色々と変わってくると思う。
変化の動向とその過程における様々な変化、それに伴う官民両方の変化について、市の方で情報を収集し、それを計画の中に組み込みながら役立てていくことが大事であると思う。
前の計画のときに山武消防で水陸両用車を入れたが、そういう珍しいものが東金にある。それを活用して市民にPRし、東金にこういうすばらしいものがあるということも多くの人に周知し、市の施策の中で活用するといい。東金のこれからの変化も捉えながら、独自の要素をうまく生かして、東金ならではのものを効果的に推進してもらえたらと考える。

委員…色々な難しさはあるだろうが、まずは196ある事業についての計画、これを実行していく上で財政的な裏付けが必要である。是非とも市の企画力を発揮してもらいたい。
企業誘致については、ここ20数年ぶりに新たな事業が見えてきたこともあり、一定程度評価したいと思うところである。
今後、子育て支援や小中学校のあり方に加え、高齢者社会の時代に対応した公共交通ネットワークのあり方について計画に整理をする中で、具現化について意識してほしい。

会長…私は、国・県・市で計画に携わってきた感想から申します。
千葉市の頃は、基本構想・基本計画・実施計画という20年10年5年の計画を政令市移行のときにやりました。
その時の印象からは、東金は、委員の皆さまの御苦勞もあり、かなり丁寧です。
作文はもっとコンパクトに、定例的なことはもう少し省略するというぐらいでも良いのではないかと感じています。

委員…今期はですね、非常にこのシステム化・デジタル化という手段に関する部分が強調されるとされているが、その実効性についても今後しっかりと検証してもらいたい。

委員…参考として、笠間市では、総合計画・総合戦略をやるときにコンサルを介さず、自分たちで作り上げるといった熱い思いを聞いて、我々東金市でも何か熱いことをしたいと感じた。これが「東金の計画だ」というものを作り込んでいただきたい。
次期の計画では、財政で縛られる部分もあると思うので、医療体制の充実の中でMCの赤字問題なども真摯に正面から向き合い、どうしていくのかを計画に示してほしい。

《出席委員の皆さまからの御意見等 終了》

《議題(4)後期基本計画及び次期総合戦略の策定に係る審議会のスケジュールについて》

会 長…議題(4)について、事務局の説明を求めます。

事務局…資料の説明（議題(4)関係資料（日程調整に係る御依頼も含む）のとおり。）

会 長…事務局で日程に関する説明とスケジュール感の説明について、よろしいでしょうか。
皆さん御協力をお願いします。

会 長…議題のすべてを終了とさせていただきますが、よろしいですか。
それでは、委員の皆様方におかれましては、円滑な議事の進行に御協力をいただきまして
ありがとうございました。

《議題(1)～(4)が全て終了》

事務局…皆さま御審議いただきありがとうございました。
また、会長におかれましては議事の進行ありがとうございました。
その他といたしまして、何かございますか。

事務局…以上をもちまして、令和7年度第1回東金市総合計画審議会を閉会させていただきます。